

“なりたい自分になる”学びがここにある

— 地域の人々の健康を支える看護師・保健師・養護教諭として躍進する！ —



保健福祉学部 保健福祉学科
看護学コース

けんひろ
看護学コースは
ここが違う！



選べる
専門職

講義・演習

学生生活

国家試験

就職支援

3つの専門課程

選 べ る 専 門 職

看護師課程

卒業要件



看護学コースでは、様々な看護の現場で、あらゆる状況に対応できる判断力と実践力を備えた看護職の育成を目指しています。

看護学に関する科目は発達段階と健康課題、場と状況の特性に応じた看護を段階的に学ぶように構成しています。小グループ単位でのアクティブ・ラーニングを活用した演習を多く設定し、学生の能動的な学びを促しています。臨地実習では、看護の対象に援助を実施・評価する過程を通して、看護実践能力を高めていきます。他コースの学生と共に学ぶ科目も多く、多職種協働について考える機会にも恵まれています。これらの4年間の学びを通して、地域社会で幅広く活躍し貢献することのできる看護職としての専門性を養います。



看護学コースでは、デジタルトランスフォーメーション（DX）の技術を活用した実践的な教育プランを構築し、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新たな医療ニーズに対応できる高度な医療人材を継続的に養成するために、教育内容の充実を図っています。

教育用電子カルテシステムとシミュレーターをリンクさせた教育システムの構築やWebVR教材の活用など、今の時代に必要とされる即戦力となり得る人材育成を目指しています。

保健師課程

選択制：選抜試験による人数制限あり



保健師課程では保健師国家試験受験資格を取得するための科目を学修します。公衆衛生看護（行政、学校、産業の分野を含む）が対象とするのは、地域で暮らす全ての人、あらゆる健康レベルの人です。地域住民のそれぞれの健康と生活の質の向上を目指し、個人への関わりだけでなく集団や地域の仕組みに働きかけていく理論や技術を学修していきます。本学では、保健師課程は選択制（20名）です。地域の多様な健康課題の解決に向け、住民や関係者と協働して取り組む力をつけるために、地域包括ケアシステムを発展させる科目などの教育が充実しています。演習や実習では、実際に地域に出向き住民との関わりや保健事業への参加を通して地域の健康課題や対策を考えていきます。また、健康教育や家庭訪問を通して、支援の企画、実施、評価を学修し実践力を高めていきます。

養護教諭課程

任意選択



養護教諭課程では、養護教諭一種免許状を取得するための科目を学修します。養護教諭は学校の保健室を中心に、教育活動を通して子どもたちの心と体の健康を守り育てる役割を担う存在です。カリキュラムは、1年次後期から教職に関する科目と養護に関する科目の履修が始まり、4年次にかけて看護専門科目に加えて教員免許に必要な単位を履修する構成になっています。1・2年次には地域の子どもサロン等でのボランティア活動をととして子どもを理解することや関わり方を学びます。養護実習は、4年次に特別支援学校で1週間、三原市内の小中学校で3週間行います。

写真は3年次の教員採用試験対策ゼミの後に実施した三角巾による応急手当の復習の様子です。

助産学専攻科への進学

本学には助産学専攻科があり、1年間の課程を修了すると助産師国家試験受験資格を得られます。入試では本学枠（本学卒業生のみ受験可能）があります。



カリキュラム

豊かな教養と多職種連携の概観を含む専門領域の基礎を修得する

専門領域に必要な知識を修得し、専門性や多職種連携の実際を知る

専門領域の学びを深め、専門職として必要な主体性や探究心を培う

臨床・実践教育にさらに取り組み、専門職としての実践力を養う



1年次

2年次

3年次

4年次

1年次	2年次	3年次	4年次
地域包括ケアシステムを 発展させる科目 ・チーム医療福祉論 ・保健福祉概論 など	地域包括ケアシステムを 発展させる科目 ・地域包括ケアシステム論 など	地域包括ケアシステムを 発展させる科目 ・保健医療福祉行政論 ・ケアマネジメント論	地域包括ケアシステムを 発展させる科目 ・リーダーシップと協働 ・チーム医療福祉演習
人間と社会生活の理解に 関する科目 ・解剖学概論 ・生理学概論 など	専門領域を理解するための 基礎となる科目 ・精神医学 ・小児科学 など		
専門領域特有の科目 ・看護学概論 ・日常生活援助方法論Ⅰ など	専門領域特有の科目 ・基礎看護実習Ⅰ・Ⅱ など	専門領域特有の科目 ・統合実習Ⅰ ・地域包括ケア実習 など	専門領域特有の科目 ・統合実習Ⅱ ・看護統合演習 ・卒業研究 など
		専門領域特有の科目 (保健師課程) ・公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ など	専門領域特有の科目 (保健師課程) ・公衆衛生看護実習Ⅰ・Ⅱ など
教職課程・養護に関する科目 (養護教諭課程) ・教育学概論 ・教職入門 ・養護概説 など	教職課程・養護に関する科目 (養護教諭課程) ・教職社会学 ・特別支援教育 ・学校健康相談 など	教職課程・養護に関する科目 (養護教諭課程) ・教育方法学 ・特別活動論 ・公衆衛生看護活動論Ⅱ など	教職課程・養護に関する科目 (養護教諭課程) ・養護実習Ⅰ・Ⅱ ・教職実践演習 など
全学共通教育科目 (大学基礎セミナー、ひろしま理解、地域教養ゼミナールなど)			
※コース選択枠で入学した学生は、1年次前期にすべてのコースの概論科目を履修します。			

*養護教諭課程では、看護師課程の卒業に必要な科目に加え、養護・教職に関する科目を履修し単位を取得することで養護教諭一種免許状が取得できます。
 *保健師課程は、2年次に選抜試験があります。
 *保健師課程と養護教諭課程はどちらかひとつの選択になります。

チューター制度

学生が安心して登校し、勉学に励むことができるよう、学生生活についての個別指導・助言をする「チューター」を配置しています。

チューターは教員が担当し、授業科目の履修、学修方法、経済面、交友関係、就職活動、面接練習など、あらゆる面について相談に応じます。また、成績交付時等、定期的に個人面談をしています。



学生生活

サークル活動

陸上、サッカー、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、硬式テニス、吹奏楽、茶道・華道、軽音部、ダンス、ラグビーボール、弓道など、数多くの体育系、文科系サークルがあります。学年やコースの違う学生同士が楽しく交流する機会にもなっています。



ダンス



ラグビー



弓道

在学生の声



4年生 片山 歩香さん

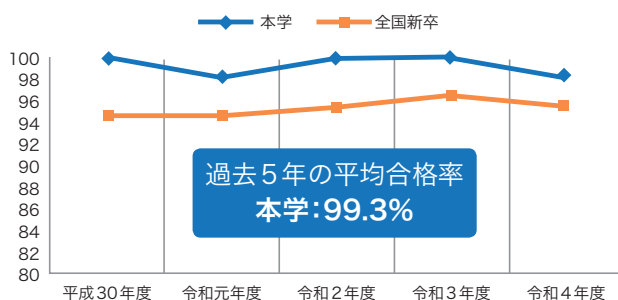
大学に入って成長したことは？

大学の授業は、グループやクラス全体で自分の意見やグループの意見を共有し、学びを深める機会が多いです。チーム医療とよく言われるように、患者さんをチームで支えていくためには、その中で自分の意見を発言できたり、他者の意見を尊重したり、多方面から物事を考える能力が求められると考えています。大学での講義や演習、実習を通して主体的に行動すること、また、周りをよく見て行動することができるようになってきたと感じています。

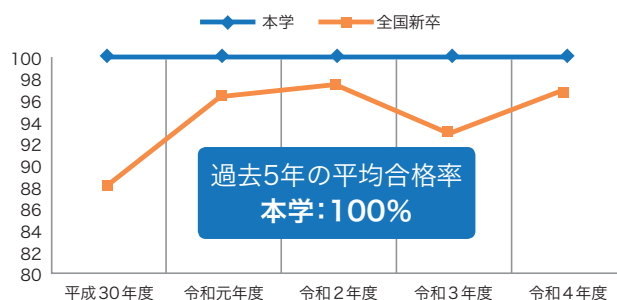
高い国家試験合格率

看護学コースでは、4年間で看護師・保健師（選択制）国家試験の受験資格を得ることができます。本学では、解剖学セミナーの開催や模擬試験の結果をもとに個々の学修を支援しています。また、卒業生との座談会や国家試験対策通信などを通して、先輩たちの勉強法を参考に自分に合った方法を見つけることができるように支援しています。

看護師国家試験合格率

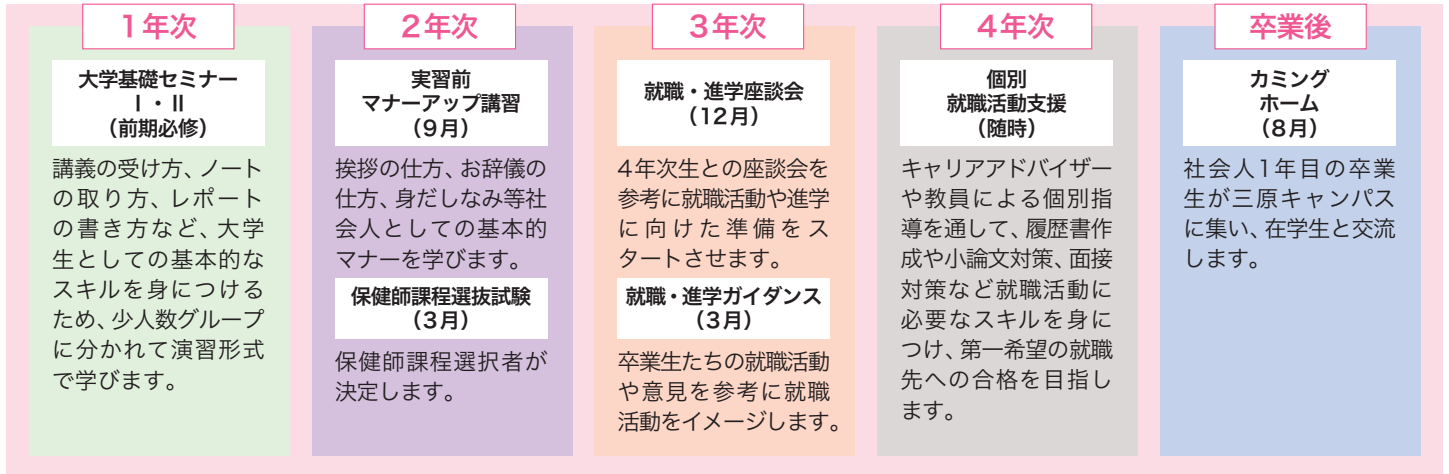


保健師国家試験合格率



キャリア支援・卒業後の主な進路

看護学コース教員とキャリアセンターが連携し、就職支援のみならず社会人基礎力の育成を支援します。



令和4年度

就職・進学決定率 100%
(就職55名、進学8名)

主な就職先

県立広島病院、広島市立病院機構、JA広島総合病院、神戸市民病院機構、広島市(保健師)など

主な進学先

県立広島大学助産学専攻科、岡山大学養護教諭特別別科など

卒業生からのメッセージ



川崎 優理子さん

平成29年度卒業 県立広島病院 看護師

救急分野に興味があり、3次救急のある県立広島病院に就職しました。就職してから4年間は一般病棟に勤務し、昨年度より救急外来で働いています。救急では救命のために確実な技術を修得する必要があります。そのため、日本救急学会が開催している蘇生教育コース(ICLS)を受講し、認定インストラクターになるため日々の業務と並行して自己研鑽に勤めています。一人でも多くの命を救うために、今後も頑張っていきたいと思います。



山本 千晶さん

平成30年度卒業 広島市 保健師

私は、地区担当保健師として働いています。母子保健、健康増進、感染症などの分野で、個人や家族、関係機関、地域の方と関わっています。大学での看護実習に行く中で、疾病予防の必要性や、病気を持つ人の退院後の暮らしを支える仕組みづくりについて学び、保健師の仕事に興味を持ちました。予防の視点を持ち支援できること、個人や地域、関係機関を「つなぐ」役割ができることは保健師の醍醐味です。市民の方の健康維持増進に貢献できるよう頑張りたいです。



小田原 美穂さん

平成29年度卒業 広島市立尾長小学校 養護教諭

初任で中学校を経験し、現在は小学校で勤務しています。子どもたちの健康や安全を守るだけでなく、子ども自身が自らの健康や安全を守っていく力を育てたいと考え、毎日子どもたちと関わっています。救急処置や健康相談等、まだまだ対応に悩むことも多いですが、看護学科だったからこそ学べた知識や経験は強みになっていると感じます。子どもたちの可愛い笑顔や言動にパワーをもらいながら、自分自身成長していきたいです。

看護学コース 教員紹介

コース長メッセージ



黒田 寿美恵 教授

研究キーワード

がん看護 慢性看護 エンド・オブ・ライフケア M-GTA



看護学コースでは、生活を支援する看護の専門性に立脚して地域包括ケアシステムの推進に寄与できる看護職を育成するためのカリキュラムを編成しています。また、DX等により教育内容を充実させ、少人数制のきめ細やかな教育を行っています。



青井 聡美 教授

研究キーワード

看護技術
生活習慣病
アロマセラピー



岡田 淳子 教授

研究キーワード

手指衛生
感染管理
急性期看護



岡田 ゆみ 教授

研究キーワード

ビンジ飲酒
飲酒動機



津森 登志子 教授

研究キーワード

解剖学
腹圧性尿失禁
骨盤底筋



松森 直美 教授

研究キーワード

小児看護ケアモデル
倫理的看護実践
プレパレーション



山中 道代 教授

研究キーワード

認知症
アニマルセラピー
脳血流



池田 ひろみ 准教授

研究キーワード

生活習慣
認知機能
看護学生



井上 誠 准教授

研究キーワード

精神看護
心理
メンタルヘルス



上野 陽子 准教授

研究キーワード

包括的性教育
妊娠葛藤
意思決定支援



加藤 洋司 准教授

研究キーワード

antimicrobial
activity、微生物



渡辺 陽子 准教授

研究キーワード

認知症看護
自己決定
アクションリサーチ



ホームページ
研究者紹介



氏名	職位	研究キーワード
沖西 紀代子	准教授	養護教諭、健康相談活動
俵 志江	准教授	保健師活動、地域包括ケア、保健師の能力
麻生 浩司	講師	精神看護、健康行動、転倒・転落、姿勢制御
加利川 真理	講師	家族・遺族ケア、在宅看護、終末期がん
川野 綾	講師	基礎看護学、腸内環境、乳汁産生
木場 しのぶ	講師	がん患者、退院支援、意思決定支援
土路生 明美	講師	発達障害、小児がん、小児看護学、子育て
中垣 和子	講師	がん看護、急性期看護

氏名	職位	研究キーワード
加藤 裕子	助教	新生児聴覚スクリーニング、母性看護
鴨下 加代	助教	発達障害、肥満、小児看護
澤岡 美咲	助教	がん看護、糖尿病看護
滝口 里美	助教	訪問看護、発達障害、家族支援
山田 裕紀	助教	フライトナース、ドクターヘリ、構造方程式モデリング
品川 祐子	助手	公衆衛生看護、健康行動、生活習慣病

県立広島大学 三原キャンパス 〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号
TEL. 0848-60-1120(代)

★詳細な情報は、大学ホームページに掲載しています。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/> 発行日 令和5年6月23日

